

母子里と出会う旅 ～日本一冬の長いまちを楽しむ一日～

概要及び今後に向けて

イベント概要

- 3月15日（日）に開催
- コンセプトは「今冬、日本で最後となる冬季イベントを楽しみませんか？」
⇒ 春が遅いということを活かしたイベント
- イベントの内容は、森の探索、昼食会、雪山遊び、カフェ、イグルー及び雪のランタン作り
- 主なターゲットは、子どもや親子連れ（ただし、限定するものではない）

参加者層

- イベントへの町外からの参加者は30名（旭川、名寄、美深、剣淵から参加）
- その他、地元住民や朱鞠内からも参加（昼食のみの人も多数）
- スタッフとして、地元の人たちに加え、北海道大学、旭川大学から、教職員や学生が参加

イベントの成果

- 地元の皆さんが主体となったイベント作り
- 地元住民と外部者の交流（特に子供たち）
- 母子里の魅力の発信（参加者の体験、事前広告、報道など）

その他に…

- 学生の学びと経験
- スタッフにとってのメリット

今後に向けて

- 今回は、雪のイベントであり、かつ子ども・親子連れをメインにしていたことから、高齢の地元住民との交流は主に昼食の時間に限られた。今後のイベントでは、高齢の地元住民と外部者との交流をどう作るか
- 準備段階で、コミュニケーションをどうとるか（時間的、距離的制約）